



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社メディパルホールディングス

コード番号 7459 URL <http://www.medipal.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 秀一

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 山崎 邦衛 TEL (03)-3517-5171

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 平成25年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,442,863	3.6	15,898	2.1	25,282	20.7	14,164	5.4
25年3月期第2四半期	1,393,356	2.2	15,577	98.5	20,942	63.0	13,440	516.3

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 15,468百万円 (31.4%) 25年3月期第2四半期 11,769百万円 (190.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	62.70	—
25年3月期第2四半期	58.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,323,289	395,491	25.3
25年3月期	1,328,601	381,892	24.3

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 335,008百万円 25年3月期 323,213百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	9.00	—	11.00	20.00
26年3月期	—	11.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,909,000	3.5	33,000	15.7	47,000	18.6	24,000	28.6	106.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期2Q	244,524,496株	25年3月期	244,524,496株
26年3月期2Q	18,422,741株	25年3月期	19,005,229株
26年3月期2Q	225,907,617株	25年3月期2Q	228,172,166株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料4ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年末以降の景気対策への期待感などを背景に、景気は緩やかに回復の動きがある一方で海外景気の下振れ懸念の影響などがあり、先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済状況の中、当社グループは、平成26年3月期を着地点とした「2014メディopal中期ビジョン」を掲げ、医療機関や小売業などの顧客やその先の消費者に顕在・潜在するさまざまなニーズにお応えできる安全、安心、低コストの流通を構築するべく、各事業活動において物流機能の高度化と営業機能の質向上に努めております。

その一環として、当社グループは製薬企業などとの連携のもと、国内において早期に開発が期待される医療用医薬品（希少疾病用医薬品など）に資金投資を行い、その製品が製造販売承認を受けた際にはリターンを得るとともに、医療機関に対する販売を優先的に行うなどの新たなビジネスモデル「プロジェクト・ファイナンス&マーケティング（PFM[®]）」に取り組んでおります。現在、複数のプロジェクトに着手しており、製造販売承認を受けた医薬品については順次販売を開始しております。

また、当社は三菱商事株式会社（東京都千代田区）とともに中国最大の医薬品卸である国薬控股股份有限公司（国薬）と平成21年10月に包括提携を締結し、以来、3社で中国におけるヘルスケア事業の拡大について検討を続けております。その一環として、平成25年7月、当社と三菱商事株式会社は国薬の子会社である医薬品卸の国薬控股北京天星普信生物医薬有限公司の持分を各々20%取得いたしました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は1兆4,428億63百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益は158億98百万円（前年同期比2.1%増）となりました。経常利益は252億82百万円（前年同期比20.7%増）、四半期純利益は141億64百万円（前年同期比5.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

医療用医薬品等卸売事業

医療用医薬品等の販売は、政府による医療費抑制の動きがある中で、新薬創出加算品をはじめとした新製品、需要が拡大している生活習慣病薬やジェネリック医薬品への積極的な取り組みを行ったこと、また、医療機器や臨床検査試薬において顧客ニーズに合った営業活動を展開したことにより、順調に推移いたしました。あわせて、前連結会計年度に引き続き、医療用医薬品の品目ごとの仕入価格交渉と、それに基づいた顧客との販売価格交渉を推し進めました。

物流面においては、高品質・高機能かつ災害対策を施した新しい物流体制の全国への拡大を進めており、当社の完全子会社である株式会社メディセオ（東京都中央区）では、現在、核となる最新鋭の物流センター「ALC（エリア・ロジスティクス・センター）」が6か所で稼働しております。また、この新しい物流体制の充実を図る一環として、平成25年9月、東京都心エリアに医薬品供給を行う超・都市型物流センター「東京中央FLC（フロント・ロジスティクス・センター）」（東京都千代田区）が稼働いたしました。

営業面においては、MR資格を取得した社員が、高い専門知識とスキルを持つAR（アシスト・リプレゼンタティブ）として活動する新たな営業に取り組んでおります。

これらの結果、医療用医薬品等卸売事業における売上高は1兆188億42百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益は79億48百万円（前年同期比5.7%増）となりました。

化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業

化粧品・日用品、一般用医薬品の販売は、激しい企業間競争や根強い消費者の節約志向に加え、円安による原材料高などが不安要素となるなど、厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社の連結子会社である株式会社Paltac（大阪市中央区）では「顧客満足の最大化と流通コストの最小化」をコーポレートスローガンに掲げ、事業を行っております。人々の生活に密着した「美と健康」に関する商品をフルラインで取り扱う中間流通業として、小売業の売場起点の発想に基づく高品質・ローコストの物流機能と効果的な品揃えや販売活動を支援する営業機能の強化を図り、サプライチェーン全体の最適化・効率化に貢献するための取り組みを行っております。この取り組みの一環として、平成25年9月に最新鋭の大型物流センターである「RDC宮城」（宮城県白石市）が稼働いたしました。

これらの結果、化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業における売上高は4,038億88百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は73億68百万円（前年同期比1.8%減）となりました。

関連事業

関連事業では、当社の完全子会社であるMPアグロ株式会社（北海道北広島市）が動物用医薬品ならびに食品添加物等の販売を行っております。

動物用医薬品の販売は、コンパニオンアニマル*向け市場において伸びがあったものの、畜産向け市場の低迷などにより、厳しい状況で推移いたしました。

食品添加物等の販売は、関東エリアでの営業活動を強化したことなどにより、堅調に推移いたしました。

これらの結果、関連事業における売上高は214億49百万円（前年同期比0.0%増）、営業利益は1億96百万円（前年同期比20.4%減）となりました。

※ コンパニオンアニマルは伴侶動物とも表現され、日常生活の中で人とより密接な関係を保つような動物を指しております。

（注）セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は1兆3,232億89百万円となり、前連結会計年度末より53億12百万円減少いたしました。

流動資産は1兆102億28百万円となり、前連結会計年度末より168億44百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金の減少412億75百万円、商品及び製品の減少16億12百万円、受取手形及び売掛金の増加244億78百万円によるものであります。

固定資産は3,130億60百万円となり、前連結会計年度末より115億31百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産の増加81億6百万円によるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債は9,277億97百万円となり、前連結会計年度末より189億11百万円減少いたしました。

流動負債は8,786億56百万円となり、前連結会計年度末より166億15百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等の減少126億48百万円、支払手形及び買掛金の減少45億44百万円によるものであります。

固定負債は491億41百万円となり、前連結会計年度末より22億95百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少15億86百万円によるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は3,954億91百万円となり、前連結会計年度末より135億99百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加120億83百万円によるものであります。

②キャッシュフローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より412億75百万円減少（26.0%減）し、当第2四半期連結会計期間末には1,174億30百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の減少は、245億44百万円（前年同期は279億92百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益246億59百万円、減価償却費62億81百万円、たな卸資産の減少16億10百万円があったものの、売上債権の増加246億9百万円、仕入債務の減少45億44百万円、法人税等の支払214億26百万円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、110億9百万円（前年同期比94億19百万円の増加）となりました。これは主に、RDC宮城等の有形固定資産の取得による支出54億89百万円、関係会社出資金の取得による支出49億21百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、57億21百万円（前年同期比108億87百万円の減少）となりました。これは主に、借入金の減少22億38百万円、配当金の支払31億78百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月10日に公表した平成26年3月期連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	164,275	123,000
受取手形及び売掛金	625,818	650,297
有価証券	18,846	18,751
商品及び製品	144,872	143,259
その他	74,478	75,915
貸倒引当金	△1,218	△995
流動資産合計	1,027,072	1,010,228
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	80,203	84,227
土地	94,216	94,327
その他（純額）	21,629	20,513
有形固定資産合計	196,049	199,069
無形固定資産		
その他	7,880	8,286
無形固定資産合計	7,880	8,286
投資その他の資産		
その他	99,331	107,525
貸倒引当金	△1,733	△1,820
投資その他の資産合計	97,598	105,704
固定資産合計	301,528	313,060
資産合計	1,328,601	1,323,289

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	811,933	807,389
短期借入金	21,100	21,000
1年内返済予定の長期借入金	3,902	3,350
未払法人税等	20,953	8,304
賞与引当金	8,302	8,287
返品調整引当金	771	753
その他	28,308	29,571
流動負債合計	895,271	878,656
固定負債		
長期借入金	10,728	9,142
退職給付引当金	16,157	16,587
その他	24,552	23,412
固定負債合計	51,437	49,141
負債合計	946,709	927,797
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,398	22,398
資本剰余金	134,194	134,291
利益剰余金	180,877	192,961
自己株式	△22,572	△21,881
株主資本合計	314,898	327,769
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,519	24,164
繰延ヘッジ損益	1	△0
土地再評価差額金	△17,206	△17,206
為替換算調整勘定	—	282
その他の包括利益累計額合計	8,314	7,239
少数株主持分	58,678	60,482
純資産合計	381,892	395,491
負債純資産合計	1,328,601	1,323,289

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,393,356	1,442,863
売上原価	1,291,529	1,340,617
売上総利益	101,826	102,246
返品調整引当金戻入額	726	771
返品調整引当金繰入額	750	753
差引売上総利益	101,802	102,265
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	33,690	33,898
福利厚生費	5,354	5,500
賞与引当金繰入額	8,112	8,221
退職給付費用	3,377	3,557
配送費	7,221	6,939
地代家賃	2,498	2,239
減価償却費	5,221	5,553
貸倒引当金繰入額	—	1
その他	20,749	20,456
販売費及び一般管理費合計	86,225	86,366
営業利益	15,577	15,898
営業外収益		
受取利息	57	77
受取配当金	1,021	999
情報提供料収入	3,379	3,528
不動産賃貸料	485	522
持分法による投資利益	393	3,962
その他	718	854
営業外収益合計	6,056	9,945
営業外費用		
支払利息	274	211
不動産賃貸費用	269	271
その他	146	78
営業外費用合計	691	560
経常利益	20,942	25,282

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	284	5
投資有価証券売却益	5,970	15
持分変動利益	—	195
特別利益合計	6,255	215
特別損失		
固定資産除売却損	233	172
減損損失	739	215
特別退職金	32	—
選択定年制度拡充費用	—	369
その他	382	82
特別損失合計	1,387	838
税金等調整前四半期純利益	25,810	24,659
法人税、住民税及び事業税	20,871	8,165
法人税等調整額	△10,725	△123
法人税等合計	10,146	8,041
少数株主損益調整前四半期純利益	15,664	16,617
少数株主利益	2,223	2,453
四半期純利益	13,440	14,164

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	15,664	16,617
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,895	△1,211
繰延ヘッジ損益	△1	△4
為替換算調整勘定	—	160
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△94
その他の包括利益合計	△3,895	△1,148
四半期包括利益	11,769	15,468
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,547	12,968
少数株主に係る四半期包括利益	2,221	2,500

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	25,810	24,659
減価償却費	5,924	6,281
減損損失	739	215
退職給付引当金の増減額(△は減少)	106	279
賞与引当金の増減額(△は減少)	213	△14
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△303	△136
特別退職金	32	—
売上債権の増減額(△は増加)	6,130	△24,609
たな卸資産の増減額(△は増加)	300	1,610
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,261	△4,544
その他	△4,371	△7,820
小計	28,321	△4,078
利息及び配当金の受取額	1,572	1,164
利息の支払額	△264	△203
特別退職金の支払額	△1	—
法人税等の支払額	△1,635	△21,426
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,992	△24,544
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,092	△5,489
有形固定資産の売却による収入	1,577	375
投資有価証券の取得による支出	△471	△172
投資有価証券の売却及び償還による収入	6,201	521
関係会社出資金の取得による支出	—	△4,921
その他	△805	△1,322
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,590	△11,009
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,694	△100
リース債務の返済による支出	△397	△302
長期借入金の返済による支出	△1,762	△2,138
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△8,175	△2
配当金の支払額	△2,099	△2,480
少数株主への配当金の支払額	△479	△697
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,608	△5,721
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	9,792	△41,275
現金及び現金同等物の期首残高	127,156	158,705
現金及び現金同等物の四半期末残高	136,949	117,430

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医療用医薬品等卸売事業	化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業	関連事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	982,736	389,177	21,442	1,393,356	—	1,393,356
セグメント間の内部売上高又は振替高	859	412	4	1,276	△1,276	—
計	983,596	389,589	21,446	1,394,632	△1,276	1,393,356
セグメント利益	7,521	7,503	246	15,271	305	15,577

(注) 1. セグメント利益の調整額305百万円には、セグメント間取引消去1,287百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△982百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医療用医薬品等卸売事業	化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業	関連事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	1,017,797	403,621	21,445	1,442,863	—	1,442,863
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,044	267	4	1,316	△1,316	—
計	1,018,842	403,888	21,449	1,444,180	△1,316	1,442,863
セグメント利益	7,948	7,368	196	15,513	384	15,898

(注) 1. セグメント利益の調整額384百万円には、セグメント間取引消去1,349百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△964百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。